

令和5年8月教育委員会定例会会議録

日時 令和5年8月28日(月)

10:00~12:15

場所 総合文化会館 研修室4

出席者：小柳委員、馬場委員、山下委員
松尾委員

事務局：朝長次長、太田係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 教育長 欠席

2. 会議録署名委員氏名

馬場委員、松尾委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(7月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

7・8月事業報告、8・9月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

7・8月事業報告、8・9月予定について

(別紙により太田係長報告)

※報告事項(追加・その他)

朝長次長

皆さんの方から何か聞かれないことがあればお願いします。あと渡邊先生の方から何か付け加えとかありませんか。

渡邊指導主事

特に今のところはございませんが、また中学校の体育祭につきましては、集合時刻等のお知らせも順次行っていきたくと思います。よろしくお願いします。以上です。

馬場委員

今年からいろいろ夏休みに体験講座をされましたが、どういう状況だったでしょうか。

渡邊指導主事

はい。ご案内しましたように、夏休みの子供体験講座を今年初めて取り組んでみました。教育委員会単独で行った講座が14、社会福祉協議会とタイアップした講座が3つありました。どの講座も盛況で、一昨日土曜日の標本づくりで全ての講座を終えました。標本づくりが15人の募集に対して32名ということで、当初は一つの時間帯で予定していましたが、それでは

どうしても足りないということで、4つのグループに分けて、朝10時スタートと、昼15時から2グループずつで行いました。とても子供たちにも好評で、楽しかったということと、併せて保護者の方からも良い取組ですねというお言葉もいただきましたし、助かりますということもよく聞きました。やっぱり子供の居場所というところもちろんあるし、こういうなかなか出来ない講座、出来ない体験をさせてもらえるということが、保護者にはとても好評だったようです。

1番参加者が多かったのが、魚のつかみ取りでした。給食センター下の川で魚のつかみ取りを行いました。教育委員会に連絡があったところが約60名の子供たち、緑と水を考える会の方にも相当数参加連絡があったようで、トータル保護者も含めて130名ほどの参加がありました。そんなに簡単につかめないだろうと思っていましたが、80センチを超えるコイを、いっぱい子供たちが捕まえていました。コイとか、マナズとか、マナズも80センチを超えていました。よく捕まえたなと思いました。それを計測して、また川に戻してやりましたが、持って帰って食べても良いんだけどという話も出ていましたが、持って帰って食べる子は誰もいませんでした。

一つバックヤードツアーが開催出来ませんでした。希望者は1人いて、1人でも開催しますとしていましたが、その参加者の1人が、水泳教室と被ってしまって参加出来ませんでした。来年はこのバックヤードツアーも面白い企画だなあと考えていますので、もうちょっと魅力とか、面白そうだなって伝えられるようなコマーシャルの仕方とかを私の方でも考えていかなければいけないなと思っています。

地域の方や波佐見高校の美術部も協力をしていただきました。キャンパスにいろいろな色を塗って模様を作ってみたりというところもありました。

一昨日は山下委員さんも参加をしていただいて標本づくりにも入っていただきましたので、参加者としてのご感想なんかもあったらありがたいなと思います。

山下委員

私は26日、自分だけの標本づくりっていう体験講座に参加しました。低学年の親子と、一般の参加っていうことで一緒に行いました。レジンを使った標本づくりでは貝殻、草花、陶片の3点から選んで、それとあと草花のラミネート標本づくりという二つを行いました。たまたま私が座った席は、3組の親子の方と同じテーブルでしたので、その親子の作業の様子を拝見していました。見てみますと、これにしようか、あれにしようか、こうしたほうが良いよね、みたいな親子での会話をされていて、とても楽しそうに作業されていた印象を受けました。低学年の子供さんでしたので、作業自体が少し難しかったのかなあと感じました。ただ、親子での参加っていうことで良かったなあと感じました。簡単に出来て、自分の標本を持ち帰れるという魅力的な講座だったと思います。長崎国際大学の学生さんも優しく丁寧に教えてくださって、大変良かったと思います。私が参加したのは、午前中の1回目の講座でしたので、ワークショップの時間が少し延長になって、渡辺先生も次の講座がちょっと時間が気になるなあってい

うことで心配されていました。ワークショップを行っていて手順側でちょっと気づいたことがありました。私も波佐見焼のパーツを使ったアクセサリ作りというワークショップのイベントを行っていますが、そこではお客様がパーツ選びに時間を掛けられます。今回、レジンの中に入れる材料を各テーブルに3点置いていたら、選ぶという時間が短縮できたのではないかと思います。前の方が3点選ぶために、次の方が待っているという、その並びの時間が短縮出来たのではないかと感じました。また、その次のラミネートの標本づくりもそこに並べられたので、それを置き換えるという手間も省けるのではないかと感じました。

それと大学の学生さんもたくさんいらっしやっていたので、参加者2組に1人とか、学生さんが担当を決められていれば、分からないところはすぐ聞くことが出来たのかなと思いました。大学の先生が全テーブルを回って説明をされていたので、それではなく、学生さんに任せられても良かったのかなと感じました。それから、ビニール手袋を利用して作業しましたが、手先作業が難しかったので、1人ずつピンセットを用意していただければ、作業がしやすかったのかなと思いました。

特別展の驚異の部屋展が同時開催されていたので、コウモリのレジンの標本だったり、動物のはく製とか、そういう標本もいろいろ見せていただきました。体験講座修了後、参加者の皆さんもそれをよく見ていらっしやったので、同時開催ということが大変良かったのではないかと思います。また展示の中で、クイズをされていて、そのクイズも子供たちだけではなくて、大人の方も楽しんで答えられていて、そういった展示の仕方ってということも大変良かったと思いました。最後に、驚異の部屋展のPRをもう一度町内の放送とかを使ってPRをされても良いのかと、折角あれだけの展示をされているので、もう少し子供たちに見に来ていただきたいなと思います。子供たちも参加したり見たりすることで、将来こんな職業もあるんだとか、幅が広がるのではないかと思います。私自身大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

渡邊指導主事

今回は長崎国際大学の先生と学生さんに協力をしていただきましたが、長崎国際大学には博物館学っていうコースがあるらしく、大学の教授によると学生たちもこれが良い勉強になっていると言われていました。とてもありがたく助かりました。

1番最初の講座が1時間30分掛かりましたが、後の三つの講座は1時間刻みなのもうちょっと効率よくいきましょうということで、レジンと押し花と二つに分けて、同時並行で回していくという形にしました。何とか1時間の中で収めるような形にしましたが、驚異の部屋展の見学は行けなくなったので、やっぱり1時間半の枠をとって充実した活動に繋げていくことが大事だなと思いましたので、来年は今回の反省を踏まえて、時間設定とその内容についても検討していかなければと思っています。来年度もできれば今回をバージョンアップした形で保護者に案内したいと思っていますので、また面白そうな講座等がありましたら教えていただきたいと思

っています。今のところは、出来ているオカリナに自分で色を塗ったりして自分のオカリナを作ることと、あとは絵手紙も面白そうだなと教育長の方からも来ています。またこれも一つの波佐見町の子供たちの夏休みの体験ということで、これからも進めていきたいと思っておりますので、何か面白いアイデアがあったら教えていただきたいと思っております。以上です。

小柳委員

私の孫も標本づくりには参加しました。川遊びとか自然が好きで、早速家に帰ってから虫をレジンで固めたりとか、カブト虫を固めたりとかしていました。植物もラミネートにして夏休みの作品として学校に提出できるようにしても良いのではとそんな話もしていました。今らんまんの連続テレビ小説もあっているので興味を示しているところがあるだろうと思えます。ラミネートするというのは良いアイデアだなと思えました。

孫は、いろんな種類のシダを、ちゃんと自分で本で調べてやっていたので、良い体験をさせてもらったのではないかと考えています。なかなか、夏休みでお忙しい中に、いろいろな企画をしていただいて、良い企画だったと思えます。

渡邊指導主事

いろんなモノ持って来て良いとしていましたが、中には蟬を持ってきた子もいました。本当に小さい入れ物だったので、蟬はちょっと入りませんでした。虫とかそういうものが半永久的に残っていきますので。そういったところにつながっていったところ、また面白い素晴らしいことだと思えます。

小柳委員

山下さんが話されたように、もったいない、SDGsですね。焼き物の不良品を細かく砕いて、色別に細かくケースに入れて、南小のわくわくワークDAYで、レジンでやっていますが、固めたりとか、その時はピンセットとか用意して、実施していただきました。そういうことも、こういうSDGsとか、そういう考えからしても面白い取り組みだと思えます。

渡邊指導主事

女の子は、とてもカラフルな良い標本が出来ていたもので、ペンダントにしてみたら可愛いねえっていう子もいました。だからとても面白い活動だったと思えます。費用として500円のマテリアル費はいただきますが、マテリアルが500円で足りているかどうかというところもあります。

太田係長

国際大学の博物館学に、うちの娘と息子が行ってました。うちの娘がたまたま中学高校ぐらいから手芸でレジンを使っていて、レジンで卒論を書きたいという話になって、大学の先生に相談したところ、先生方がレジン自体を知らないということでした。そこで子供たちにレジンで何か出来ないかということで、去年レジンの講座を歴文で開催してもらいました。先生方はやり方が分からないということで、マテリアルを取り寄せてもらって、去年はうちの娘が講師となってレジンの講座を行いました。今年3月で卒業しましたので、今年もしてもらえたら良いなって話をしていたところ、

また開催されると聞いて喜んでいました。

多分今先生がどのくらいのことが分かっているかというところだと思うので、レジンの使い方は、まだ学生さんにはちょっとした工程が難しいのかなと思います。

小柳委員 交趾（こうち：釉薬）っていう製品がありますが、凄く鮮やかな綺麗な色が出るので、それをペンダントなんかにしたら凄くオシャレな作品ができると思います。

山下委員 生きた小さい虫を持ってこられた子供さんがいて、先生が生きていたらちょっと可哀そうだよ、レジンの中で動くのでキレイに出来ないよっていう話はされていました。

小柳委員 うちの孫も、食材の中のエビみたいなものを使っていました。

松尾委員 これはどうなるんだろう、レジンに入れたらどうなるんだろうとか、そう思うのが大事なんですよ。

渡邊指導主事 そうなんですよ。

馬場委員 うちにもクモとか、セミもあります。面白いのは「石」、石は水につけるともの凄く色が出ます。ケースに石を置いて、水を入れて並べてみても面白いです。もの凄くきれいです。そういうことも参考にできればいいかなと思います。

今話を聞いていて、今回の夏休み体験講座は非常に良い体験だったと思います。この前も朝いちで、子供たちが夏休みに朝から携帯ばかり見ているとやっていました。それを見ていて、最終的には、子供たちは親と遊んでいる時間がないっていうことがどこの地区からも言われていました。その前に、まずは学校の先生が子供たちと遊んでない。先生方は今忙し過ぎて子供たちと遊ぶ時間が無い。昔は学校に行けば先生たちと一緒にいる遊んでいましたが、今はそれがまずない。今度は親がまた共働きをしていて非常に忙しく、子供と接する機会がない。

今の若い人と言えぱおかしいけれど、そういう経験をしてない。我々の時代は何も無かったから、その中でいろんな遊びを見つけて、魚のつかみどりとか、山に行って罫をかけたとか、いろいろな体験をしてきて遊びを知っているわけですよ。今の人たちは何でもある時代に育っているから、遊びを知らないわけですよ。キャンプをするにしても、今の家をそのまま移動したみたいなキャンプをやっていますが、それはキャンプじゃないんです。だからこういう機会、親子でできる機会っていうことを子供たちは求めていると思います。例えば、ゴールデンウィークに2日間休みにしましたが、あれも地域との関わりを待つ時間にしようとか、こういう体験をして親子のもっと触れ合う時間にしようとか、世の中にはゲーム

以外、携帯以外にも、もっと自然と親しむ遊びがあるんだということを分かってもらわないといけない。私たちはそういう話をしながら進めてきたので、もっと広げて親子の時間をつくるということで、今回の企画はもの凄く良かったと思います。

しかし、こういうことは昔はPTAの活動の中でやっていました。学校の先生方が出来ない部分を、親が代わってやっていた時代がありました。が、そういう時代から大きく掛け離れてきています。それをもの凄く感じました。だから、いい番組だったなと思ってちょっと録画をしています。見直しながらそういったところを親も考えていけないといけないと思います。親が遊びきれないので、子供も遊びきれない。そうするとますます携帯しか見ないということになってしまうというのが、繰り返されているのではないかと思っています。いろんなアイデアで、いろいろな体験をする時間を夏休みに作れたということは今回のこの企画は非常に良かったと私は思っています。ぜひ来年も、もっとバージョンアップした体験を準備して欲しいと思いました。

渡邊指導主事

やってみてですね、例えば学校や地域では山に行くな、川に一人で行くなどか制限を掛けている。だから反面、子供たちは家の中でゲームばかりしている。ゲームばかりするな、外に遊びに行けと言っても、なかなか子供たちは遊び場がない、遊びようがないってところだと思います。実際魚のつかみ取りをやってみて、トータル130名の参加者があったということは、やっぱり川で遊びたいと思っているんですね。あと木工体験も、金づちでトントンとたたいたりする、そういう体験を子供たちはやっぱり求めているんだろうと特に感じました。ですから来年ももっとバージョンアップして、もっともっと楽しめる体験にしていきたいと思います。

しかし、今回中学生の参加がほとんどありませんでした。ですから中学生が参加できるような、時間の設定とか内容についても、もうちょっと工夫していきたいなと思っています。また、来年もどうぞよろしく願います。

松尾委員

魚のつかみ取りの6日は、多分親子交歓バレー大会でしたので、それで中学生はそっちに行ってしまったのではないのでしょうか。この親子交歓バレーは中学生だけでしょうか。

渡邊指導主事

中学生だけです。

松尾委員

親子交歓バレーは、うち欠席扱いにされてしまって、欠席だったのでこれどうぞと持ってこられました。魚のつかみ取りに行くようにしていたので、欠席届も出していませんでした。なぜか中学生でもないのに欠席扱いにされてしまいました。

うちは、魚のつかみ取りに行きましたが、本当に楽しかったみたいです。もう大はしゃぎで大興奮でした。それで、普段はどうして川に入っ

やいけないんだって聞かれました。友達どうしても行ったら駄目なんでしょって言われて、ルールとしては、友達とだけでは駄目になっているよねと言いました。

馬場委員

昔はやっぱり事故が多かったんですよ。

渡邊指導主事

「良いよって」なかなか言えないですね。難しいですね。

松尾委員

子供たちだけでは行かないってことになっているからねって念を押しました。今回は、いろいろな取組があって、バックヤードとか、ピザがあったり、食べ物だったり、川だったり、標本作ったり、木工もあったり、いろんなパターンがあって、選ぶのにも凄く迷っていて、参加できるなら全部行きたいってなって言っていました。周りの子供たちもそんな感じでした。野球や陸上の練習があるからこの日のこれは行けない、これ行きたいけど、これ行けないみたいな感じだったので、おそらく子供たち自身も親もそういう場所を探しているということが分かりました。行き場所がないっていうか、居場所がないっていうか、あったらこういうことが開催されたら、100名以上の方が集まってくるということが分かったと思います。

7月に中央小学校は学習の時間がありました。今年は呼ばれてない子も来ていいよって時間が設けてあって、それに来た子どもたちが結構いたみたいでした。あれを保護者の希望としては、7月の何日と何日とかではなく、1週間に1回ぐらい学校に来て、学習時間として使って良いという教室があると、凄く宿題も進むと思います。また進んでいない子供は、周りはここまでしているのに、自分はここまでしかしていないと焦るので、良いかなと思いました。先生たちはとても大変だと思いますが、そういうことをしてもらえたら保護者は助かるという声を聞いています。

中央小のことばかりになりますが、8月20日の日曜日に朝からラジオ体操をして、校内清掃を毎年やっていて、去年は多分雨かなんかで実施出来できませんでした。今年実施しました。6年生だけでいうと女の子3人と男性は1人しかいなくて、凄く寂しい出席率だったみたいでした。他の学校はされていますか。

渡邊指導主事

他の学校も夏休みに校内清掃しています。クラスで4名？

松尾委員

クラスで4名です。男の子はうちだけでした。なので、掃除も人数がなくて、はかどらないし、来た子どもたちは一生懸命やってくれますが、ちょっと出席率がですね。時間の問題かなと思いますが、ラジオ体操の時間に行って、ラジオ体操して、そのあとにそのまま8時まで掃除をするという日程で行っています。時間の問題なのか、他の問題なのか、野球の予定と重なってしまったから皆さん来れなかったのか、よく分かりませんが、さすがに出席率が低くて、参加した子供たちが何か可哀そうだなあと

どうか、もうちょっと意味のある活動にしたいと思いました。

馬場委員 それはPTAですよ。昔は環境美化作業といって8月の最後の日曜日は皆で出ましようという形でやっていました。みんな親子で来ていただいて、参加率は高かったです。高いところの窓ガラスは危ないから注意してなんか言いながら、やっていました。それはちょっとおかしいですね。

松尾委員 あまりに出席率が低くて、他の学年は分かりませんが、6年生に関しては4人しか来ていませんでした。寂しかったというのが感想です。

今まで他の地区はどうか分かりませんが、朝のラジオ体操も、舞相はやっていますが、8月の中頃までやっています。多分地区でバラバラなんですよね。今の状況をリサーチして、他所はこうやっていますよとなると、うちもやりましようかってなるのでしょうか。

小柳委員 自治会の中で聞いたら、自宅でやってくださいっていうところもあるようで、びっくりしました。

朝長次長 放送でラジオ体操を流しているっていうことを聞いたことがあります。朝から自宅でラジオ体操してくださいと地区の放送でラジオ体操流していたところがあると聞きました。

松尾委員 ちょっとバラツキがあり過ぎますよね。

渡邊指導主事 郷でラジオ体操しない地区もあります。お盆までとか、7月までとか、昔と比較するわけではないですが、夏休み期間中はずっとやって印鑑をもらいに行っていましたからね。

松尾委員 行っても行かなくても結局参加賞がもらえるから、子供たちも全然全部出席して皆勤賞にしようという頑張りとか無いですね。

渡邊指導主事 そういうご褒美があっても良いんですけどね。

松尾委員 そういったご褒美があると、恐らくもうちょっと子供たちも頑張るんでしょうけど。

馬場委員 前回の委員会でも、民生委員さんとの話合いの中で、自分たちも協力するからということもあったように、やっぱりPTAだけでやろうとするからダメであって、もっと地域に呼びかけをするような体制を今後は作っていかないと、ラジオ体操も出来ない訳です。PTAの役員だけがしょっちゅう出てというわけではなくて、地域の人と一緒に、老人クラブの人とか、婦人会が行くとか、やっぱそういう体制をつくってあげて、ある程度夏休みはラジオ体操をさせて良いんだと思います。昔はそれでできていた

ので、それで結局害になることは全然ないわけだから、朝早く起きて、規律正しい生活ができるわけだからですね。

小柳委員 前回の定例会、私欠席しましてこの会議録を見ていまして。民生委員の会長さんがそういう発言をされているっていうのを見て、なるほどだなと思いました。民生委員さんは、ラジオ体操とかで子供たちと接する時に、どこの子供さんっていうのが分かるという話されていました。宿は壮年と敬老会までの間にむつみ会っていうのがあって、私もそこに当然所属していますが、意外ともう仕事を外れた人がいらっしやって、そういった方々に声をかけて、出来る人がいたら民生委員さんなんかと一緒に話し合いをしながらサポートしていけるような仕組みを作ればと思いました。今馬場委員が言われたように、PTAだけで何とかしようとするから、若い人たちの考え方がだんだん変わってきて、なかなか難しくなっているのが現状だと思うので、そういうところの交流を、何かやっていくうちにだんだんといい方向に向かっていくのではないかと思います。

朝長次長 PTAさんの活動が、今と比べてという話があったんですが、何でそういうふうになくなってきたのかという話はあると思いますが、いま教育委員会と民生委員さんの懇談会を持っていますが、今度はPTAの役員と懇談をしてもらってもいいのではないかと思います。いろいろな話は出てくると思います。

馬場委員 新しい人は昔のことを知らないからですね。私はそれをずっと前からここで話をして、何かあったら行きますよという話はしています。そういう良いものはやっぱり伝えていかなければならないし、特にコロナで途切れてしまっているんで、そういった昔の意見も大事なことがあるので、良いのではないかと思います。やっぱり地域で育てるということが一番の目的ですから。

朝長次長 そうですね一度、民生委員さんとの懇談会の計画を、PTAの役員さんとも話しながら進めていければと思います。

松尾委員 どういうところを手伝ってもらえば助かるか？

馬場委員 そうですよ。

朝長次長 もし大丈夫なら本当に民生委員さんとの懇談会を、PTAに押し付けにならないように、昔の話ばかりしていたらPTAも困るかもしれないので、押し付けにならない程度で話を進めてみてはと思います。

3) 教育委員の選任について

朝長次長 | ちょっと時間も進んでいますので、先へ進めたいと思います。レジュメの報告事項の3番ということで、教育委員の選任についてですが、小柳委員が今限りということで、本人から退任したいというお話がありまして、教育長ともう一期とお願いしましたが、退任させて欲しいということでした。その後任ということで、鬼木の冨木さんが候補に上がり、お話をさせていただいたところ、まだ農協の職員として再雇用で行っているの
で、日程が難しいと一度は断られました。再度、教育委員会の定例会の日程は前月の定例会で都合をきいてから決めるということと、出張関係は前もって分かっているの
で、その日程で農協のシフトも組んでもらえればという話をさせていただきながら、何とか同意して貰いました。今度の9月の議会で、議案として教育委員会委員の任命ということで、出させていただきたいと思っています。公職歴を伺ったところ県のPTA理事までされていたということでビックリしました。小柳委員は2期8年間になられます。あと10月までの任期ですが、よろしくお願いいたします。

4. 議題

1) 準要保護(就学援助)の認定について

朝長次長 | 続きます、就学援助の認定について、移りたいと思います。資料をお配りします。

今月は、児童扶養手当関係の新規1件の申請があります。児童扶養手当は子育てで審査を行って認定を受けていますので、就学援助も認定ということでよろしいでしょうか。

【委員了承】

それでは、就学援助について、認定ということで進めさせてもらいたいと思います

2) 教科書採択について

朝長次長 | それでは2番の教科書採択についてということで進めさせていただきます。

尾野主任 | すいません失礼します。それでは私から採択教科書のことについて説明をさせていただきます。

【資料により説明】

令和6年度使用小学校教科用図書採択結果一覧表

NO	種目	採択教科書発行者名	備考
1	国語	光村図書出版(株)	
	書写	光村図書出版(株)	
2	社会	教育出版(株)	
	地図	(株)帝国書院	
3	算数	東京書籍(株)	
4	理科	(株)新興出版社 啓林館	
5	生活	(株)新興出版社 啓林館	
6	音楽	(株)教育芸術社	
7	図画工作	日本文教出版(株)	
8	家庭	開隆堂出版(株)	
9	保健	東京書籍(株)	
10	英語	東京書籍(株)	
11	道徳	東京書籍(株)	

配付しました資料が、来年度の小学校使用教科書の科目ごとの一覧表となっています。6月から8月にかけて協議を行ってまいりました。

渡邊指導主事

まず、一般の先生方の調査委員という方が数人いらっしゃって、その調査委員の方で、いろんな教科書を見て、現場の声を上げていくという形になります。国語に限らずほかの教科書も、内容はそんな大きく変わるわけではありませんが、ここはここが良いとか、ここはやりにくいよねって調査した人が第1第2第3候補をこのように選定しましたという調査結果を、校長で組織する選定委員に上げることとなります。そこで、調査委員の意見を受けて、選定委員で決定をしていくという形になっていきます。

出版会社との利害関係があるので、誰が調査委員かも絶対に漏らさないようにしながら、厳密にやっていくっていう会となります。誰が調査員か分からないように、出張に行く際にも何の業務で出張に行っているのか、ただ教育委員会の研修ということで出張にもいかれています。そういったご苦勞の結果、今回の選定になっています。

東彼杵郡は、郡内単独で選択しますので、他の市町と全く違う選択となっているところも出てきます。

松尾委員

県内の状況はどうなんでしょうか。

尾野主任

他のところの様子っていうのは、まだ分かりせん。8月末に県に報告を上げないといけなくて、それ以降に、それぞれの郡や市が、どういった決

定を下したのかっていう、公表はいずれあるかと思えます。

朝長次長 今月いっぱいには報告をあげないといけないようになっているようです。

尾野主任 ちょっとこれは事務的な話になりますが、教科書システムっていうのを
使って、31日までに、来年度学校ごとにどの教科書を使いますというデー
タを県に送らないといけません。

馬場委員 いつもギリギリになって教育委員会で決定していきますから、今年は、
総括が川棚町がされているということですか。【川棚です】
現場の先生たちが大体上げてきているので、我々がそれを見てどうのこ
うのって言う立場でもありませんが、現場がやりやすいということで、さ
れていければと思いますので、私は問題ないと思います。

朝長次長 それでは、波佐見町ではこれで承認という形よろしいでしょうか。

【委員全員了承】

ありがとうございます。それでは承認ということで、県に報告させてい
ただきます。

小柳委員 例えば参考までにですが、道徳の方もたまたま私見る機会があって、選
定の内容でユニバーサル的な表現もあって、その本のサイズが非常に良い
サイズでした。サイズもいろいろあって、良いサイズの本でした。また、
文字がユニバーサル文字になっているものもあって、何かこういろいろあ
るんだなど、改めて確認させてもらいました。確かにユニバーサルにし
て、書写なんかから見るとどうなのかなっていうのは感じるころありま
すが、確かに分かりやすい文字だなあって見させてもらいました。結構い
ろんな角度から教科書を見させてもらいました。

朝長次長 資料は回収させていただきます。

5. その他

1) 2学期の学校訪問について

2) 中学校体育祭について

朝長次長 それではその他に移りまして、2学期の学校訪問ですが、今の東小学校
から希望日が、10月18日か25日ということできています。18日の水曜日
か、25日は午前中いきいき大学になっていますが、

馬場委員	今度は午後でしょう。
朝長次長	そうですか、午後ですか。午後なら大丈夫ですね。ちなみに今の予定で最終確認は出来ていませんが、17日が中学校の文化発表会になっているようです。
渡邊指導主事	18日、25日、ともに大丈夫ですが、教育長の確認を取る必要がありますが、
朝長次長	皆さんは今のところ18日も25日もどちらでも大丈夫ですか。 【大丈夫の声】 はい、分かりました。中学校の方はまだいつというのはちょっと来ておりません。あと中学校の体育祭が24日、8:45が開会式ということで聞いています。集合時間等、これからご連絡をさせていただきたいと思います。

3) 全国学力調査・学習状況調査、長崎県学力調査の結果の公表について

朝長次長	8 ページの方に、掲載様式を載せています。毎年広報で公表しなければならぬというふうになっていますので、これを広報で周知させていただきたいと思っています。これについて今回横山議員から一般質問が出されています。なかなか回答も難しいなあと思っています。
渡邊指導主事	これについては、今回の結果となります。まず表の左側が全国学力調査となります。全国平均を全て下回る結果になりました。表の右側が、県の学力調査で中学校の国語のみが県平均を上回っています。今年度は大変厳しい結果ということで、前回の方でもお話をさせていただいたと思いますが、プラス表記が一つしかないところが、とても公表するのに悔しい思いをしているところです。全国学力はプラスになっていませんが、中でも一つなんか取り上げるとしたら、中学校の国語はこちらの方でも知識理解の習得だけは全国レベルに達していました。他のところは厳しかったというところ。数学算数については、計算力が不足しています。また、昨年度と同様ですが、本町の課題の一つである読む力をつけていかなければならないと思っています。例えば、文章問題があつて、それを読んで、どういうことを聞かれているのか、それに対してどう答えれば良いのかというところが、子供たちには近年不足しているところです。これも各学校現場と話をしますが、先生たちもやっぱり認識をしています。問題文を読まずに簡単に答えてしまう。もうちょっと、しっかり読み込んで答えなさいと言っても、それが出来ずに、問題を理解しないまま答えるために、問題文に対する答えになっていないと担任の先生たちもよく話をしています。読解力というところで取り組みを進めています。読書の活動

を進めてみたり、授業中でもそういうものを取り入れてみたりというようなことを進めているところです。学校現場の中で、先生たちは本当に分刻みでバタバタされているところがあって、誰1人さぼっている人間なんて誰もいないんですが、何とかしていかなければならないと取り組みを進めているところです。そのための方策として、授業の目当てを立てて、今からどんな学習をしていくかということを確認にした上で、学習を進め、学習の最後に振り返りを入れることで、より理解を深めるということを進めています。これまでもそうですが、やらされている学習から自主的な学習への転換を進めていくってことが、今の教育現場の全体的な流れになっています。本町でもこれを中心に今進めているところです。

長崎県の学力調査では、中学校の国語が2ポイント上回る結果となっています。特にここでは、根拠を明確にして書くという問題については、最も高くて県を9ポイント上回る結果となっています。ですから、ここから更に広げていく活動ということを進めていかなければと思っています。小学校・中学校ともまだ課題はとて多くありますが、今申し上げたところもそうですが、取り組むべき内容も多岐に渡っていますので、一つ一つ確実に進めていきたいと思っています。これに合わせ、確かな学力の定着には家庭教育が土台となります。今後とも基本的な生活習慣づくりとか、学習環境の配慮にご協力をお願いしますということで、町報には載せていきたいと思っています。来年はプラス表記がもっと増えることを期待しています。本当に残念です。そういう残念な結果を報告する形になりました。

松尾委員 このままの載るような感じですか。

朝長次長 基本的にはこのまま掲載されます。

松尾委員 様々に伝わりますよね。

渡邊指導主事 具体的なことはなかなか書きにくいですから。

松尾委員 もうちょっと危機感を持ってもらわないと、多分保護者さんに伝わらないかなと思います。意識が高い方がすごく多いので、今の現況がこうですよっていうことが分かれば、もう少し家庭の状況を変えてくる方もたくさんいると思います。

渡邊指導主事 公表の在り方として、全国・県の平均を超えた場合にプラス表記をするというのが、今の公表になっています。ですから、町独自で別の表記ということはなかなか難しくなります。各学校では具体的な数値を載せて学校だより等で紹介しています。学校もこれじゃいけないということで火がついている状況で、具体的な数字を出して良いかと校長会の中でも議題となり、もう出していきましょうとなりました。町で公的に公表する部分では

なかなか難しいところもありますが、学校が自分たちの子供たちの現状はこうなんだということを、もうちょっと保護者に知らせていきたいということでしたので、そうして行こうと話をしているところです。

確かにこの広報掲載内容は、何だろうって分かりにくいですよええ。

- 山下委員　この表記の仕方ですが、これをそのまま空欄で出したときに、ぱっと見られた方が、何なんだろうって、分かられない方がいらっしゃるのではないかと思いますので、例えば全国平均を上回った場合プラスとなっていますとか、注釈を入れてもらえばもっと分かりやすいのかなと思います。
- 渡邊指導主事　そうですね、ありがとうございます。全国・県平均を上回った場合のみプラス表記されますっていうことですよえ。はい。分かりました。ありがとうございます。
- 小柳委員　調査結果についての内容で、重点となるようなところを大きく表示するとか、アンダーラインを引くとか、工夫してもらえればと思います。
- 渡邊指導主事　はい。分かりました。
- 朝長次長　これは来月の広報ですか。
- 渡邊指導主事　11月の広報に載りますね。
- 松尾委員　この表がまずはパンと目に入るので、空欄が何か分かるような表記をお願いします。
- 渡邊指導主事　この表の下に注釈を載せるようにしておきます。
- 松尾委員　分かっていたのか厳しいと思いますが、分かってもらわなければ、多分変わらないと思います。
- 朝長次長　新聞はこのプラス表記で載せてありました。だから、横山議員さんが今回これを見て一般質問をされます。しかし、保護者で今回が非常に厳しかったと知っている可能性は、東はそこまでないのではないですか。
- 渡邊指導主事　いや、東は今回の県の学力調査はとても厳しかったです。全国は良かったですが、学年によって違っていました。
- 馬場委員　違うんですよえ。去年はかなり良かったですからね。
- 渡邊指導主事　そのときの5年生が今6年生になって全国がやっぱり高いんです。ですから今の5年生はどうしても低学年の時から集中して学習に望めない教室

の雰囲気があったので、それがやっぱりなかなか厳しいところがあります。

朝長次長 横山さんの一般質問は、去年はプラスが多かったので、去年と比べてどう判断するか、推移をとかを聞かれています。

渡邊指導主事 何て書けばいいのかなあと今悩んでいるところです。あまり全体的なこと等で具体的な数字っていうのがなかなか出しづらいところがあります。

朝長次長 学校の中にやっぱり、手をとる子供が多いっていう言い方をして良いのかどうか、そこは私はどうかなって思っています。支援員を増やしてるし、サポーター制度も始めている。だからそういった子供たちを落ちつかせる。手だては行っています。

それともう一つあるのは、学力調査を今までは年1回の実施でしたが、4月と12月の年2回実施し、自分のクラスの結果は12月に出てきますので、自分で責任を持ってもらうようにしています。

渡邊指導主事 2回目については、やっぱり担任の目の色が変わりましたというような報告もいただいています。担任自身の指導の成果が、結果として出てくるので、何とかっていうような思いを持って取り組んでもらっています。

松尾委員 12月の標準学力調査の結果は1月の終わりから2月ぐらいは出てきますか。

渡邊指導主事 12月の結果は3学期の頭ぐらいに出てきますので、それを見て、最後のもう一押し指導も可能になってきます。

朝長次長 11月の広報で周知ということで、若干ちょっと修正を加えながらですね、行いたいと思っております。

こちらから用意していた議題が以上ですが、皆さんの方から何かありませんか。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

松尾委員 小学生が熱中症で亡くなっていますが、体育の授業で止めましょうとかいうそういう何か基準みたいなものがあるんですか。

渡邊指導主事 正確な基準というものはありませんが、各学校には熱中症アラートの機

器はあります。例えば、そういった中で、この夏場はもうほぼ毎日なっている状態です。ですからそうなってくると体育の授業が全く出来なくなってくるので、その辺りは、例えば時間割を組み替えて、涼しいところでやってみるとか、例えば特に暑い日には体育館で授業をする前に、保健の学習に切り替えてみるとか、そういった現場も工夫しながらやっているところではあります。ですから、必ず水筒を持って小刻みに水分補給をさせていますし、そういった中で、体育の授業は大分苦勞していると思います。熱中症で亡くなる事案が今年の夏は何件かありましたね。

松尾委員 中学校で体育祭があると言っているので、練習をしたりする時間が増えるのかなと思っています。

渡邊指導主事 その辺も随分配慮しながらやっていかれると思います。

朝長次長 他に何かありますか。それでは来月の委員会の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

それでは、次回9月の定例会は9月22日（金）10時からということをお願いいたします。8月の定例会お疲れさまでした。

※次回定例会予定 令和5年9月22日（金）10時00分から
波佐見町総合文化会館

令和5年8月28日教育委員会定例会会議録署名	
署名委員	馬場 清治
	松尾 保子